

介護保険制度の見直しで、要介護高齢者の生活はどう変わる!?

これからの

「宅老所・グループホーム+ユニットケア」

を考える緊急集会

■ 目的 ■ 在宅の痴呆性高齢者が住み慣れた地域の中で、近隣や友人との馴染みの関係を継続し暮らし続けるために、「宅老所・グループホーム」は、通って、泊まって、自宅にも手伝いに来てくれて、いざとなったら住むこともできる「地域密着小規模多機能ホーム」化をめざしてきました。

また、特養・老健・医療施設では、宅老所・グループホームのケアを取り入れた「ユニットケア」を通して、入居者が暮らしを実感できる生活の場を生み出してきました。

緊急集会では、宅老所・グループホームとユニットケアの現状と課題を整理し、今後の方向を話し合うとともに、介護保険制度の見直しに現場からの提案を行ないます。

■ 日時 ■ 2002年6月16日（日）13：00 ～ 16：40

■ 会場 ■ 社会文化会館 三宅坂ホール 東京都千代田区永田町1-8-1（TEL：03-3592-7531）

■ 主催 ■ 宅老所・グループホーム全国ネットワーク／特養・老健・医療施設ユニットケア研究会

■ 定員 ■ 300名

■ 内容 ■

時 間	内 容
13:00～13:10	開会
13:10～14:40	セッションⅠ ー介護保険制度のこれからへの提言ー（宅老所・グループホーム編） 「在宅の痴呆性高齢者が地域の中で住み続けるために」 ◆キャスト 宅老所・グループホーム全国ネットワーク 代表世話人 佐々木 健 同 高 木 敏 江 同 槻 谷 和 夫 ◆コーディネーター 季刊・痴呆性老人研究 編集長 泉 田 照 雄
14:40～15:00	休憩
15:00～16:30	セッションⅡ ー介護保険制度のこれからへの提言ー（ユニットケア編） 「特養・老健・医療施設に暮らす高齢者の生活の質の向上のために」 ◆キャスト 特養・老健・医療施設ユニットケア研究会 代 表 武 田 和 典 特養・ももやま（京都府） 施設長 山 田 尋 志 老健・きのこ老人保健施設（岡山県） 施設長 篠 崎 人 理 ◆コーディネーター 東北福祉大学総合福祉学部 教 授 高 橋 誠 一

■ 参加費 ■

5,000 円

宅老所・グループホーム全国ネットワーク

特養・老健・医療施設ユニットケア研究会交流会

会員は 4,000 円（ただし 1 会員 1 名のみ）

■ 参加申込 ■

セミナー参加ご希望の方は下記の参加申込書に必要事項を記入の上、事務局まで FAX、郵送もしくは E-Mail でお送りください。同時に郵便局で、下記の口座に参加費をお振込みください。入金確認後参加証を送付いたします。なお、振込みの際には「参加者（代表者お一人で結構です）のお名前」と「お電話番号」を明記してください。

郵便振替

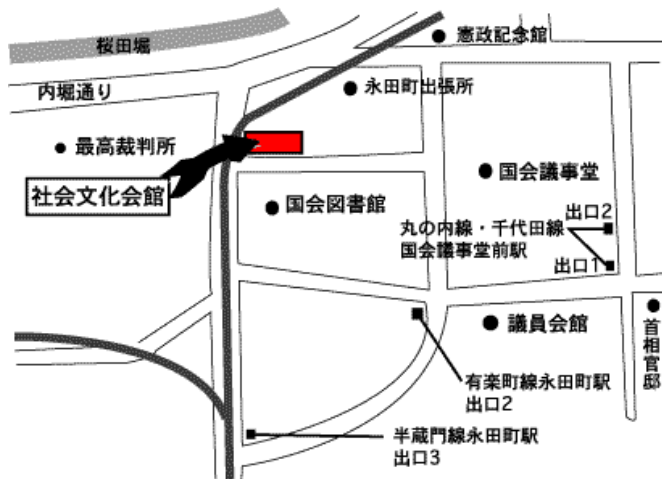
口座番号

02200-3-45413

口座名義

宅老所・グループホーム全国ネットワーク

■ 会場地図 ■



- 地下鉄有楽町線
永田町下車 3 分（出口 2）
- 地下鉄半蔵門線
永田町下車 4 分（出口 3）
- 地下鉄丸の内線
国会議事堂前下車 6 分
- 地下鉄千代田線
国会議事堂前下車 6 分
（出口 1・2）

■ 事務局 ■

宅老所・グループホーム全国ネットワーク

〒981-0954 宮城県仙台市青葉区川平 5-3-18-207 全国コミュニティライフサポートセンター内

TEL : 022-719-9240

FAX : 022-719-9251

E-Mail : clc@clc-japan.com

これからの「宅老所・グループホーム＋ユニットケア」を考える緊急集会 参加申込書

FAX : 022-719-9251

参加者氏名①				参加者氏名②			
参加者氏名③				参加者氏名④			
所属				TEL	()		
				FAX	()		
住所	〒						
会員種別	該当するものに○ 1. 宅老所・グループホーム全国ネットワーク 2. 特養・老健・医療施設ユニットケア研究会交流会						
会員番号							